

平成30年3月14日（水）

常総市

茨城県

下館河川事務所

記者発表資料

八間堀川への流入水路に着目したタイムライン（案）が完成 ～タイムライン（案）を活用した情報伝達演習を実施します～

鬼怒川と小貝川に挟まれた低平地を流れる八間堀川への流入水路に関する常総市、茨城県、国及び関係機関では、洪水時の防災行動を確実に実施するため、それぞれの防災行動を時系列で整理する“八間堀川への流入水路に着目したタイムライン”の検討を進めていました。

この度、八間堀川への流入水路に着目したタイムライン（案）が完成したことから、このタイムラインがうまく機能するかを確認するとともに、八間堀川周辺の洪水リスクと冠水メカニズム、関係機関の防災行動を関係自治区の住民へ周知するため、情報伝達演習を実施します。

1. 開催日時

平成30年3月24日（土） 9時30分から（2時間を予定）

2. 開催場所

水海道小学校 体育館（常総市水海道天満町2516-1）

3. 公開等

- ・演習は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・演習時のカメラ撮りは、撮影エリア内においてのみ可能です。
- ・会場の都合上、事前登録制とさせていただきます。

※その他取材に関する詳細は別添資料1をご確認ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
筑西市記者クラブ、筑波研究学園都市記者会

問い合わせ先

常総市役所 市長公室 室長 <small>そめや よしお</small> 染谷 佳男 TEL：0297-23-2111（代表）	茨城県河川課 鬼怒川流域緊急対策推進室 <small>くりばやし しゅんいち</small> 技佐 栗林 俊一 TEL：029-301-4491（直通） 茨城県常総工事事務所 次長兼道路河川整備課長 <small>たん まさし</small> 丹 正史 TEL：0297-42-2621（代表）	国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 副所長 <small>いしだ かずや</small> 石田 和也 調査課長 <small>ほしお あきら</small> 星尾 日明 TEL：0296-25-2161（代表） TEL：0296-25-2171（調査課） FAX：0296-25-3019
都市建設部 部長 <small>きむら しげき</small> 木村 茂樹 TEL：0297-23-2111（代表）		

「八間堀川への流入水路に着目したタイムライン」 情報伝達演習の実施について（報道の方へ）

標記について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成30年3月24日（土） 9：30から11：30まで（予定）

2. 開催場所

水海道小学校 体育館

住所：茨城県常総市水海道天満町2516-1

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩約10分（別添地図参照）

3. 会議の公開

- 演習は、報道機関を通じて公開いたします。
- 演習時のカメラ撮りは、撮影エリア内においてのみ可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成30年3月24日（土） 9：00～9：30まで
- 受付場所 水海道小学校 体育館
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。
なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材にあたっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材はご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、演習や他の方の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、着席のうえ、静粛にして下さい。
（カメラの撮影時には、撮影エリア内でのみ移動は可能です）。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材にあたっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従ってください。

※送付票は不要です。

FAX番号 0297-23-2164 常総市 道路維持課 行き

「八間堀川への流入水路に着目したタイムライン」情報伝達演習

取材登録書

標記について、取材を希望される報道機関は、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限 : 平成30年3月20日(火) 12時まで

1. 報道機関名 _____

2. ご氏名 _____
(代表者のみ)

3. 連絡先 TEL _____

4. 取材人数 _____ (代表者を含む) _____ 人

5. テレビカメラの有無 有 無 「有」を選択した場合
_____ 台

6. 事前登録に関する問い合わせ先

常総市役所 都市建設部 道路維持課

課長 つか 戸塚 勇 TEL : 0297-30-6200 (直通)

課長補佐 なまい 生井 勝博 TEL : 0297-30-6200 (直通)

○開催場所

水海道小学校 体育館

住所：茨城県常総市水海道天満町2516-1

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩約10分



1. 概要、目指す成果

鬼怒川と小貝川に挟まれた低平地を流れる八間堀川は、合流先の鬼怒川の影響を大きく受けるとともに、多くの水路が流入し、旧八間堀川で小貝川に接続する複雑な機構です。また、鬼怒川への合流点付近は常総市の中心市街地となっていますが、地盤が川よりも低く、水災害リスクが高い地域です。

このたび、国土交通省下館河川事務所、茨城県、常総市及び関係機関が、以下の成果を得ること目指し、「八間堀川への流入水路に着目したタイムライン（案）」を作成しました。

- 八間堀川周辺の水災害リスクと冠水メカニズムを理解する
- 他機関の防災行動を把握するとともに、自機関の防災行動との繋がりを認識する
- 情報発信等の他の機関の防災行動を支援する防災行動を新たに実施する
- 関係機関の防災行動を整理したタイムラインを作成する
- 樋門操作等のこれまでも実施してきた防災行動を確実に実施する

2. 取り組みの進め方

①八間堀川への流入水路に着目したタイムライン検討会 （第1回コアメンバー会議）【H29.11.17】

- ・八間堀川への流入水路に着目したタイムライン（案）作成に向けて
- ・目指すべき成果、取り組みの進め方について

現地調査
(市・県・国)

- ・各機関の防災行動
- 八間堀川周辺の地盤高情報
- 排水施設の所管・管理 等の把握
- ・関係機関それぞれの防災行動を整理

②八間堀川への流入水路に着目したタイムライン検討会 （第2回コアメンバー会議）【H29.12.28】

- ・八間堀川周辺の**水害リスクの把握**

現地調査
(市・県・国)

- ・各機関が必要な情報の共有
- ・施設の所管・管理の明確化
- ・対策が必要な排水管のフラップゲート化

③八間堀川への流入水路に着目したタイムラインに関する 状況報告会【H30.2.1】

- ・ **関係自治区長への進捗状況報告**

- ・各機関の役割の確認、各機関内部署での調整
- ・各機関の情報連携の調整
- ・新たな防災行動をタイムライン(素案)に明記
- ・タイムライン(素案)の作成と内容確認

④八間堀川への流入水路に着目したタイムライン検討会 【H30.3.13】

- ・八間堀川への流入水路に着目した**タイムライン（案）の完成**

(以下、予定)

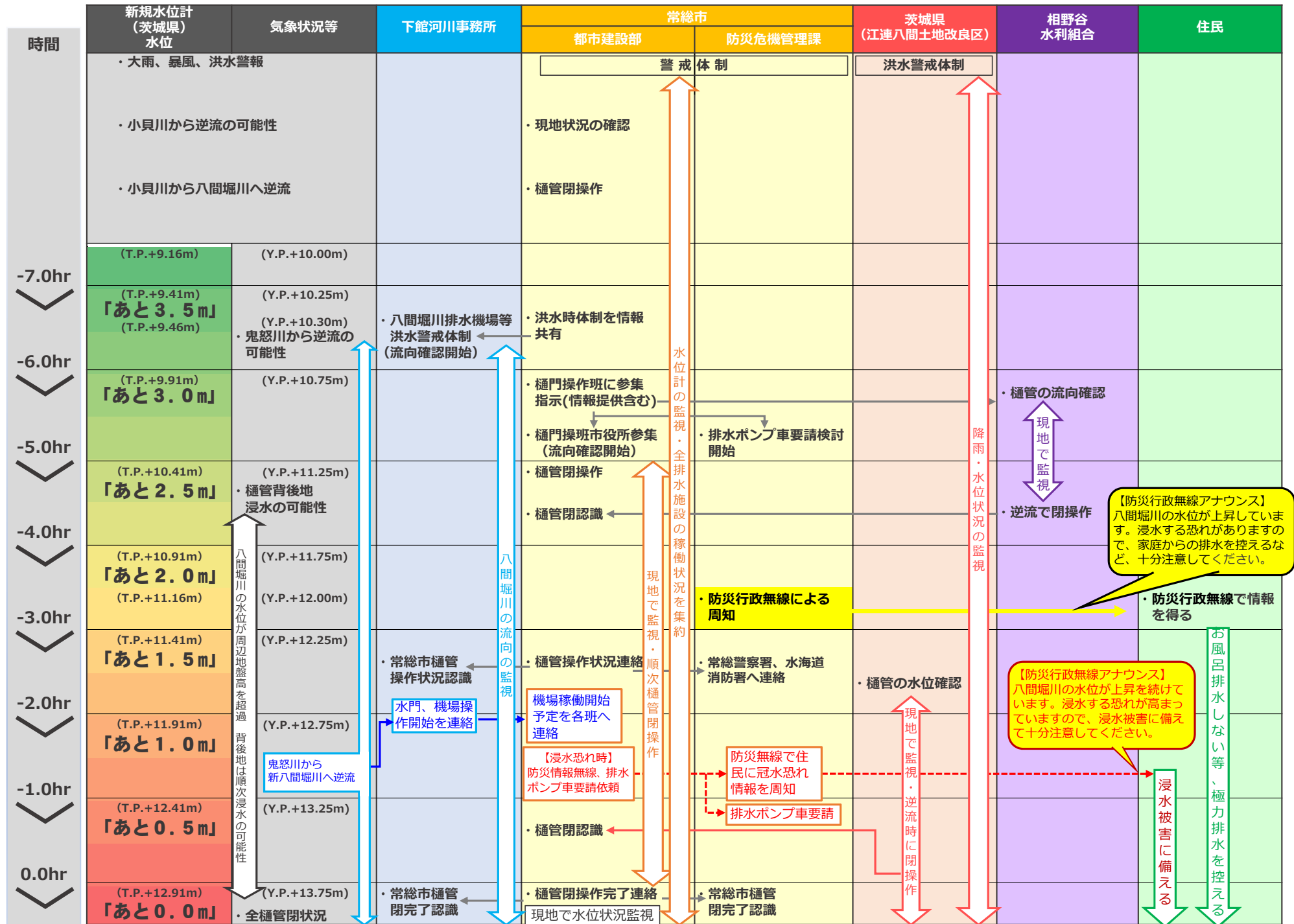
- ・記者発表
- ・情報伝達演習に向けた関係機関調整

⑤八間堀川への流入水路に着目したタイムライン（案）に 基づく情報伝達演習【H30.3.24】

- ・関係機関が一同に会し、**情報伝達演習を実施**

八間堀川への流入水路に着目したタイムライン (案)

【概要版】



【防災行政無線アナウンス】
八間堀川の水位が上昇しています。浸水する恐れがありますので、家庭からの排水を控えるなど、十分注意してください。

【防災行政無線アナウンス】
八間堀川の水位が上昇を続けています。浸水する恐れが高まっていますので、浸水被害に備えて十分注意してください。

お風呂排水しない等、極力排水を控える
浸水被害に備える

■：防災無線による住民への情報提供

赤：仮定の状況であり、この時刻及び水位時に確実に発生する事象ではない

※タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理したものです。

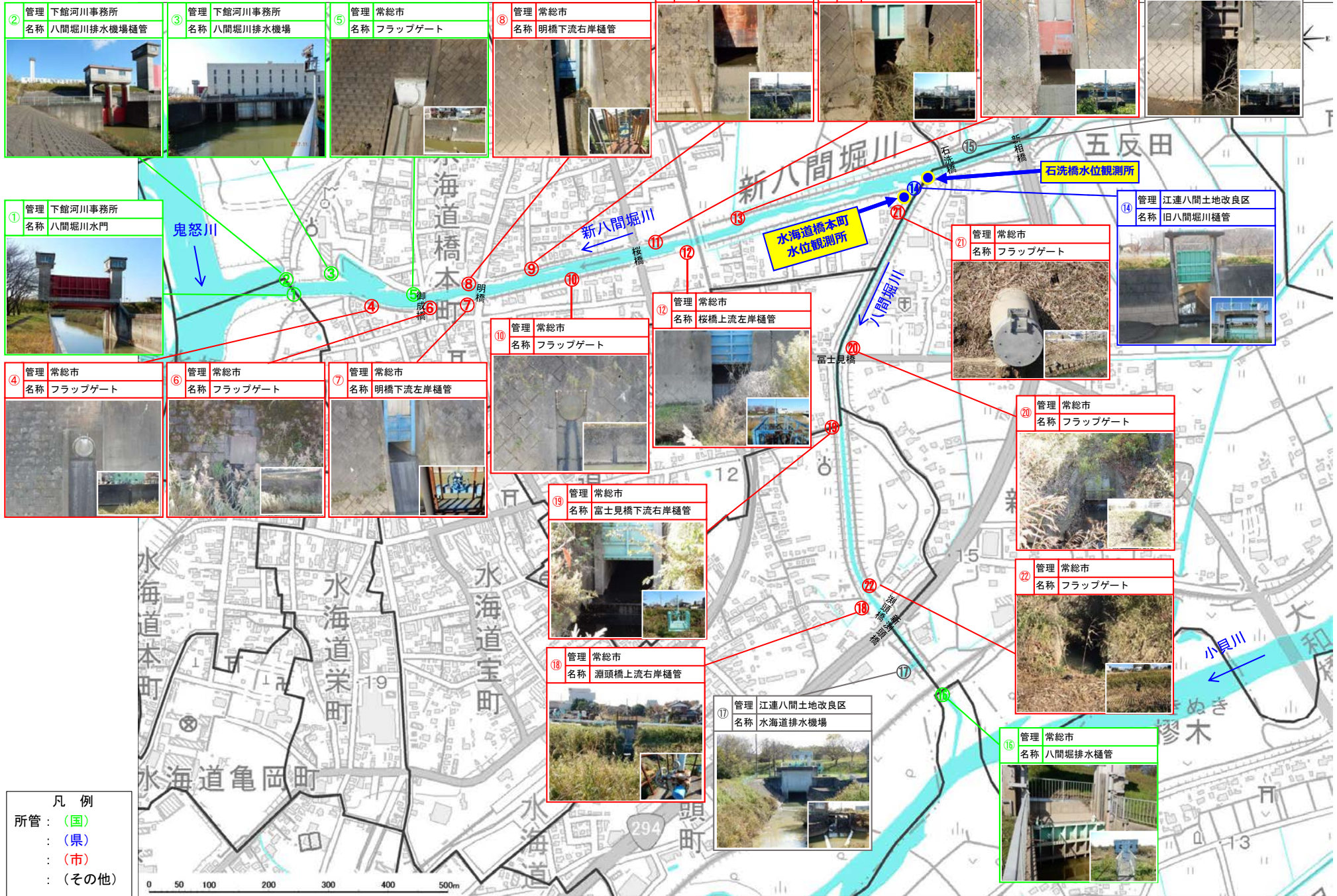
※洪水は自然現象であり、タイムラインで想定したとおりに行進するとは限りません。あくまで行動の目安として認識し、収集・確認した情報をもとに、臨機応変に防災行動の実行を判断してください。

※このタイムライン(案)は、今後の出水や訓練等を通じて見直しを行ってまいります。

新八間堀川に関する22施設を整理

・明確かつ迅速な情報共有のため、22の施設を番号で整理

排水施設位置図



八間堀川への流入水路に着目したタイムライン検討会で得られた成果

❗ 水害リスクと氾濫メカニズムを理解

- ・鬼怒川、小貝川と八間堀川は北から南に流れ、市役所周辺は水が集まる地形
- ・新八間堀川および八間堀川周辺には、洪水時の河川水位よりも地盤高が低い宅地が存在
- ・新八間堀川に関係する22施設について、浸水する可能性がある水位を把握
- ・逆流対策を必要とする施設も存在など

❗ 他機関の防災行動を把握するとともに、自機関の防災行動との繋がりを認識

- ・明確かつ迅速な情報共有のため、22の施設を番号で整理
- ・22施設を調査し、施設ごとに防災行動の目安となる新八間堀川の水位を整理
- ・新八間堀川の水位を基準に関係機関の防災行動を整理など

❗ 情報発信等の他の機関の防災行動を支援する防災行動を新たに実施

- ・関係機関の情報を常総市の総括班に集約し統合的に把握
- ・操作後の状況報告など、操作に関する一連の防災行動を明確化
- ・新たに住民への情報提供を実施など

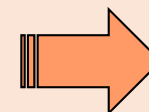
❗ 関係機関の防災行動を整理したタイムラインを作成

- ・災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ・災害時の判断をサポート
- ・情報伝達演習で試行

■ 逆流対策を実施



■ きぬ医師会病院駐車場付近の管



■ フラップゲート設置

■ 新八間堀川と八間堀川に、それぞれ水位計を新設しHPにおいてリアルタイムで公開

茨城県 土木部 雨量・河川水位情報

データ種別 | 雨量 | 水位 |

表示形式 | 現況表 | 一覧表選択 |

水位一覧表選択(常総工事事務所) 2018年

頁	大滝橋 下妻市 常総工事事務所	三坂新田 常総市 常総工事事務所
1		
2	五橋 下妻市 常総工事事務所	鬼怒川(防潮堤) 常総市 下総河川事務所

※茨城県土木部HP

■ 総括班の創設

■ 操作後の状況報告などルール化

■ 防災行政無線の活用

❗ 防災行動を確実に実施